

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成17年8月2日（火）

第19回（第4期第1回）江東内部河川流域連絡会を開催



第4期の流域連絡会委員



会議の様子

- ・「第19回（第4期第1回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から午後4時30分の約2時間半、江東区文化センター6階第2・3会議室にて開催しました。
- ・都民委員14名と行政委員10名等が参加しました。名簿は6ページ
- ・はじめに、各委員の自己紹介と座長の選出が行われました。そして、行政委員から江東内部河川の整備事業と河川通航ガイド、都民委員等からイベントの情報提供があり、意見交換などを実施しました。

流域連絡会の目的と設置

江東内部河川を「人々に親しまれ、くらしのなかに生きる川」とするためには、都民と行政が共通認識に基づき協働・連携して川づくりを進めていくことが重要です。

そこで、流域の住民、河川に関心を持ち活動している団体、区及び都が河川について、情報や意見交換等を行うことを目的として、江東内部河川流域連絡会を設置しました。

行政委員からの情報提供

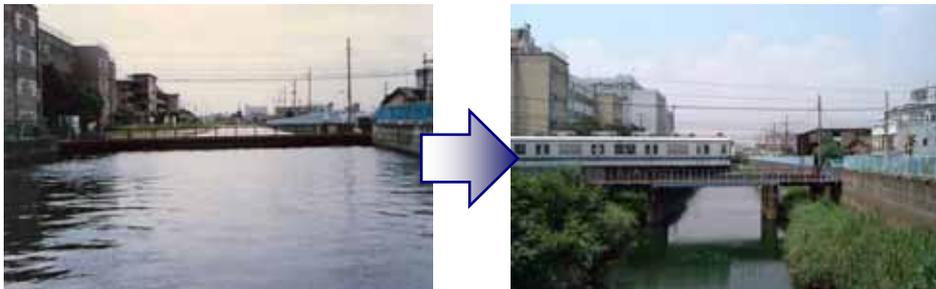
江東内部河川整備事業について

大地震時の護岸倒壊による水害から江東三角地帯を守るため、おおむね地域を東西に二分して、地盤高が特に低い東側地域の河川は、平常水位を低下する水位低下と河道整備を実施し、比較的地盤高が高い西側地域の河川は、耐震護岸で整備を進めています。

東側河川については、二段階で水位低下を実施しその後、河道整備を進めて平成 16 年度末までに 26%が完成し、西側河川については、耐震護岸の 65%が完成しています。

東京都は今後とも、江東内部河川が「人々に親しまれ、くらしのなかに生きる川」となるよう整備を進めていきます。

江東内部河川の昔と今



北十間川・小原橋から東武亀戸線を望む（墨田区立花一丁目・江東区亀戸四丁目）



旧中川・中川新橋から上流を望む（江東区亀戸九丁目）



大島川西支川・巽橋から上流を望む（江東区永代一丁目）

江東内部河川通航ガイドについて

東京都建設局では、荒川ロックゲートの開通により船舶の通航量の増加が見込まれるため、江東内部河川における通航ルールを策定し、平成 17 年 10 月 1 日から施行します。

江東内部河川における通航方法

江東内部河川全域で適用となる通航方法

- 水上オートバイの使用禁止 ----- 護岸や橋梁桁下への接触事故を防止するため通航を原則禁止する区域
- その他：停泊等の禁止、沈没船舶等の表示義務等



現地状況に合わせて設定した区域で適用となる通航方法

- 自然保全区域** ----- 河岸の自然環境を保全するために、船舶の通航を原則として禁止する区域
(護岸から一定の距離は船舶の通航を禁止)
- 減速区域** ----- 動力船の波によって低水路の歩行者や手漕ぎボート等の利用者、係留船舶、自然環境に支障を与えないように減速する区域
- 船舶等通航禁止区域** ----- 動力船、非動力船に関らず、船舶の通航を原則として禁止する区域
- 上空高注意区域** ----- 感潮区間（潮の満ち引きの影響を受ける河川の範囲）において、船舶等が橋梁等に接触することがないように、水位変動や橋桁高に注意して通航する区域
：減速区域・上空高注意区域
- 施設管理区域** ----- 河川管理施設等の操作に支障が生じないように船舶等の通航を制限する区域（水門、閘門、排水機場等）施設ごとにルールは異なります。



護岸から 5m (船舶通航禁止)



(引き波禁止)



(船舶通航禁止)



上空高注意



(行き会禁止)



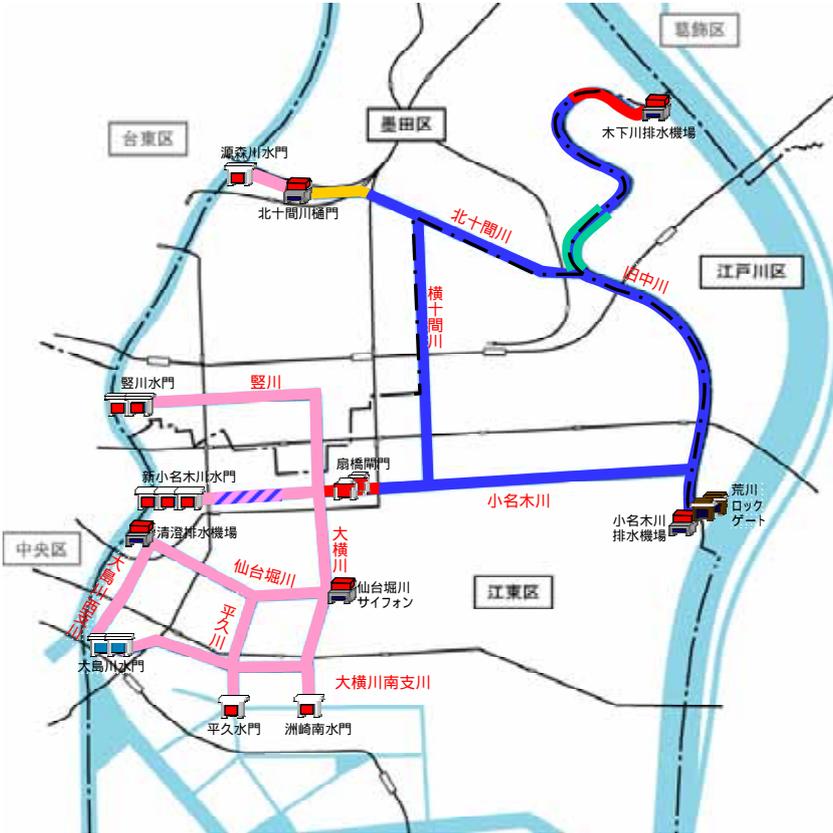
(追い越し禁止)



(回転禁止)



(進入禁止)



整備事業と通航ガイドについての意見交換

都民委員 行政委員

江東内部河川で通航できる船舶の大きさの最大限はどの程度なのか。

扇橋閘門では、幅 8m、船たまりの長さ(90m)以下の船舶は通航可能です。ただし、橋の桁下高が低いいため、背の高い船舶の通航は困難です。配布予定の通航ガイドには、橋の桁下高の情報を表示する予定です。

水上オートバイの通航は禁止とあるが、扇橋閘門まで来たら、どのような対応をするのか。本来、扇橋閘門まで水上オートバイは来られないはずですが、来てしまった場合には、この先は通れないということで引き返していただきます。荒川ロックゲートも同様です。荒川ロックゲート完成により開閉時に水の流れができ、内部河川の水質は浄化されるのか。旧中川より荒川の水位の方が高いので、ゲート開閉時に荒川の比較きれいな水が旧中川へ流入してきます。このため水質向上の一定の効果はあると期待しています。

地震時における水門の開閉の基準はどうなっているのか。

水門の操作について管理基準で定められており、隅田川沿いの水門は、震度 4 以上で直ちに閉鎖し、安全を確認後、開けることになっています。

現在、扇橋閘門は日曜日に通れないが、観光等のため日曜日でも通れるようにしてほしい。現在は平日・土曜日の 8:45～16:30 に通航できますが、通航頻度や近隣環境も考慮して、将来に向けて検討したいと思います。

横十間川などは水深が浅いところがある。そこにエンジン付のボートが入ってきたら川底のヘドロ等を巻き上げて汚れてしまう。

横十間川は、まだ未整備であり計画河床高まで下がっていません。このような未整備で水深が浅い区間では、ヘドロが巻き上がる可能性があります。

通航ガイドの「自然保全区域」には船が 5メートル以上近づけないとあるが、船が波を立てなくても、天体周期で水位が変わる。それで壊れるような自然だったら、これは自然というべきではないと思う。

「自然保全区域」がある旧中川は水位低下河川であり、水位は A.P.-1.0m と一定です。

また、様々な生物や生態系を守る観点から、この川岸の 5メートル以内では、船舶の通航を遠慮していただこうと考えています。

都民委員からの情報提供

1) 和船乗船体験について

江東区では、現在 7 隻の和船を所有しており、うち 6 隻が横十間川親水公園ボート場にありますが、「和船友の会」の協力により、一般の皆さんも乗船できます。

【開催】 3月～11月：毎週水曜日（水曜日が祝日の時は翌日）
12月～2月：毎週日曜日 天候等により中止になることがあります。
【時間】 午前 10 時～午後 1 時 45 分まで受付（乗船所にて直接申込み、10 名以上は事前連絡）
【場所】 横十間川親水公園ボート場（尾高乗船所）
【料金】 無料

2) ふれあいボート教室について

「江戸川区ボート協会」では、小・中学生のためのふれあいボート教室を開催しています。旧中川の自然に触れながら、ボートを漕ぎます。高校生以上の方も歓迎します。

【開催】4月～10月の毎月第一土曜日（計7回） 小雨決行
【時間】10：00～15：00（受付9：00 定員20名 予約者、先着者優先）
【場所】江戸川区小松川一丁目船着場、旧中川河川敷および旧中川
【料金】無料（保険代として一般400円、小・中学生200円が必要）
【資格】小学3年生以上の男女。中学生は保護者の同意が必要。小学生は保護者と参加。

3) 旧中川灯籠流しとパネル展について

昭和20年3月の東京大空襲では、猛火を逃れようと川に入った約3000人が犠牲となりました。江東区と江戸川区の「旧中川灯籠流し実行委員会」では、犠牲者の冥福と平和を願い毎年8月に灯籠流しを実施しています。

【開催】8月15日（月） 小雨決行
【時間】式典：午後6時30分より とうろう流し：午後7時より
【場所】旧中川ふれあい橋付近

江東治水事務所では、旧中川灯籠流しに併せて、「生まれ変わる江東内部河川のパネル展」をふれあい橋付近で開催します。

4) 水彩フェスティバルについて

水彩都市アピール実行委員会では、「第6回水彩フェスティバル」を開催します。主なイベントは9月10日に行なわれます。

【開催】9月10日（土）～11日（日）の2日間 【時間】9：00～16：00（両日とも）
【場所】クローバー橋・水門橋周辺（江東区扇橋、小名木川と横十間川の交差点）
【内容】オークション&フリーマーケット、水辺ウォーキング、子どもたちによる太鼓ショー、模擬店・オープンカフェ、ロープワークの実演、カッターの試乗会、和船の櫓こぎ教室、扇橋開門・荒川ロックゲートの見学、手旗信号教室、工作教室、各種展示会

5) 荒川ロックゲート完成記念式典について

国土交通省荒川下流河川事務所では、「荒川ロックゲート」の完成を記念し、特設会場での記念式典を始め、さまざまなイベントや記念シンポジウムを開催します。

【開催】10月1日（土） 小雨決行
【時間】記念式典 10：00～11：30 併催イベント 11：30～15：00
【場所】荒川ロックゲート及び周辺施設（江戸川区小松川1丁目、江東区東砂2丁目地先）
【内容】完成記念式典、通り初め、併催イベント（通過体験やパネル展示等）
荒川ロックゲート完成記念シンポジウム（13：30～16：00・江東区立東砂小学校）

その他の意見

都民委員 行政委員

今後の進め方について、限られた時間なので、テーマを決めて議論することには賛成です。江東内部河川を全体的な目で議論できればいいと思う。

新しい都民委員の方がいるし荒川ロックゲートもできたので、江東内部河川の現状を知って共通認識を持つため、見学会を実施してほしい。

備長炭や竹炭による川の水質浄化の実験を実施したい。

議論していくテーマを決めることが一番問題ではないかと思う。

もう少し教育の中で、川の大切さ、水の大切さ、気をつけなければならない点を強調しなければ、みんなのものにならないと思う。また、もう少し水と協調するということを考えていく必要があると思う。

流域連絡会の今後の予定

今期の流域連絡会は年 4 回程度開催し、次回は 10 月頃に船による現地見学会、その次は来年 1 月頃を予定しています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

平成 17 年 8 月 2 日現在
敬称略 都民委員は区別・50 音順

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名
都 民 委 員	個 人	墨田区	阿久沢 八代
		墨田区	石井 貞光
		墨田区	清道 洋一
		墨田区	田中 兼勝
		江東区	菊地 進一
		江東区	氷見 修三
		江東区	山広 勲
		江戸川区	芦田 正次
		江戸川区（勤務地）	堀内 仁之
		江戸川区	山内 久二
団 体	団 体	江東区の水辺に親しむ会	須永 淑子
		江東区和船友の会	松島 信治郎
		旧中川灯籠流し実行委員会	江頭 正恭
		小松川平井地区連合町会	谷川 貞夫
		江戸川区ボート協会	渡辺 秀郎
		所 属 ・ 職 名	氏 名
行 政 委 員	行 政 委 員	墨田区都市計画部都市整備担当都市整備課長	小山 季廣
		江東区土木部水辺と緑の課長	荒川 順二
		江戸川区土木部計画課長	高井 聖
		東京都環境局自然環境部水環境課長	芳賀 道子
		東京都下水道局建設部土木設計課長	中島 義成
		東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長	森田 茂
		東京都建設局河川部副参事（河川管理制度担当）	熊本 敬治
		東京都建設局河川部副参事（総合治水・低地河川防災計画担当）	新谷 景一
		東京都建設局第五建設事務所管理課長	大野 正實
		東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	伊藤 政行
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	大塚 好夫		

座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：小菅、田村

TEL：03-3692-4945（直通） FAX 03-3696-6499

Email-address：S0200225@section.metro.tokyo.jp